

北神野菜情報 3号

作成・発行:北神営農振興会

構成員:神戸農業改良普及センター、神戸市、JA兵庫六甲神戸北営農総合センター

巡回地区:八多・上淡河・淡河・山田・有野・道場・大沢・長尾



圃場巡回結果

巡回日:令和1年10月8日(火)

今回の巡回では下表の通り、害虫の発生を確認しました。アブラムシやアザミウマの他、ヨトウムシ等の被害が広がっています。よく圃場を観察し、早期防除に努めましょう。また、降雨後は、圃場の排水を行うなど、病害の発生しにくい条件を整えましょう。

☆今回の圃場巡回で、特に下記のような病害虫が確認されました。

品目	発生病害虫	程度	薬剤	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤使用 回数
ねぎ	アザミウマ類	中	スタークル顆粒水溶剤	2000倍 100~300L/10a	収穫 3日前まで	2回以内
	シロイチモジヨトウ	中	フレバソソフアブル5	2000倍 100~300L/10a	収穫 3日前まで	3回以内
ブロッコリー	ヨトウムシ	大	ランネート45DF (劇)	1000倍 100~300L/10a	収穫 7日前まで	2回以内
	アブラムシ類	少		1000~2000倍 100~300L/10a		
はくさい	ヨトウムシ	少	アフーム乳剤	1000~2000倍 100~300L/10a	収穫 7日前まで	3回以内
	キスジノミハムシ	少	スタークル顆粒水溶剤	2000倍 100~300L/10a	収穫 3日前まで	2回以内

※程度は軽微なものから、無 < 微 < 少 < 中 < 多 < 甚 と表します。

※農薬使用時は必ずラベルの登録内容を確認し、その内容に従ってご使用ください。

【劇】の農薬は劇物を表しています。ご購入の際は、印鑑をご持参ください。

農薬散布のタイミングについて

キャベツやはくさいの収穫後、外側は綺麗なのに葉の中からヨトウムシやアブラムシが見つかることが多くあります。葉が巻き始める結球初中期までに殺虫剤を散布しておきましょう。農薬は定められた希釈倍数・使用量を守り、しっかりと散布してください。散布量が少ないと、十分な殺虫効果を発揮できていないケースがあります。

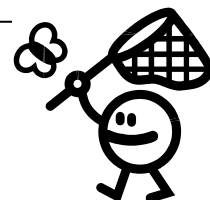
詳しくは最寄りのJA支店営農相談窓口までお尋ねください。

今年度の調査は今回をもって終了となりました。

お問合せ先 JA兵庫六甲 神戸北営農総合センター

TEL:078-981-5540

FAX:078-981-5817



北神野菜情報 第2号

作成・発行:北神営農振興会

構成員:神戸農業改良普及センター、神戸市、JA兵庫六甲神戸北営農総合センター

巡回地区:八多・上淡河・淡河・山田・有野・道場・大沢・長尾



圃場巡回結果

巡回日:2019年8月23日(金)

今回の巡回では主にアザミウマ類の発生等を確認しました。よく圃場を観察し、予防と早期発見・防除に努めましょう。

8月中下旬から曇天・雨天が続いています。今は問題ないように見えても、湿度の高い日が続く場合は、今後病害の発生拡大が懸念されます。初期防除を徹底しましょう。

☆今回の圃場巡回で、特に以下のような病害虫が確認されました。

作物名	適用病害虫	程度	薬剤	希釈倍数	使用時期	使用方法	本剤使用回数
えだまめ	カメムシ類	少	トレボン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで	散布	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫3日前まで	散布	2回以内
ピーマン	斑点細菌病	少	Zボルドー	500倍	—	散布	—
なす	ハダニ類	少 ~中	コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	散布	4回以内
	ミナキイロアザミウマ ミカンキイロアザミウマ						

※薬剤の希釈液使用量は100~300Lです。

※程度は軽微なものから、無<微<少<中<多<甚と表します。

※農薬使用時は必ずラベルの登録内容を確認し、その内容に従ってご使用ください。

一部の圃場で黒大豆枝豆の生育が旺盛で、茎葉が大きくなり、薬剤が隅々まで届きにくい株が見られます。薬剤散布時は適量を下からまくり上げるように散布し、万遍なく付着するよう心がけてください。

今後、台風や長雨の多い季節となり、病害や肥料切れの発生が懸念されます。堆肥やアツミン等の資材で地力をあげ、石灰資材や微量元素を豊富に含んだ土壌改良材を施して、強い作物を育てる土壌を作りましょう。老化していない健全な苗の定植も重要です。

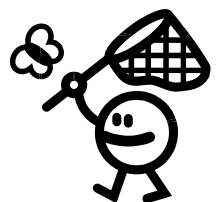
ご不明な点がありました神戸農業改良普及センター、最寄りのJA支店営農窓口又は神戸北営農総合センターまでお問い合わせください。

次回の調査予定日は、2019年10月8日(火)です。

お問合せ先 JA兵庫六甲 神戸北営農総合センター

TEL:078-981-5540

FAX:078-981-5817



北神野菜情報 第1号

作成・発行:北神営農振興会

構成員:神戸農業改良普及センター、神戸市、JA兵庫六甲神戸北営農総合センター

巡回地区:八多・上淡河・淡河・山田・有野・道場・大沢・長尾



圃場巡回結果

巡回日:2019年7月19日(金)

今回の巡回では7月の長雨・高湿の影響による病害や、ホコリダニ、アザミウマ類の発生等を確認しました。よく圃場を観察し、予防と早期発見・防除に努めましょう。

梅雨明け以降、乾燥が続く場合は、ハダニの発生拡大が懸念されます。初期防除を徹底しましょう。

☆今回の圃場巡回で、特に以下のような病害虫が確認されました。

作物名	適用病害虫	程度	薬剤	希釈倍数	使用時期	使用方法	本剤使用回数
かぼちゃ	うどんこ病	大	ジーファイン水和剤	750~1,000倍	収穫前日まで	散布	—
えだまめ	ウコンメイガ*	少	スミチオン乳剤	1,000倍	収穫21日前まで	散布	4回以内
きゅうり	べと病	少	アミスター20 フロアブル	1,500 ~2,000倍	収穫前日まで	散布	4回以内
トマト	輪紋病	少	ダコニール1000	1,000倍	収穫前日まで	散布	4回以内
なす	アザミウマ類	少 ~中	アフーム乳剤	2,000倍	収穫前日まで	散布	2回以内
	チャノホコリダニ						

※薬剤の希釈液使用量はジーファインを除き100~300Lです。(ジーファインは150~500L)

※程度は軽微なものから、無<微<少<中<多<甚と表します。

※農薬使用時は必ずラベルの登録内容を確認し、その内容に従ってご使用ください。

【劇】の農薬は劇物を表しています。ご購入の際は、印鑑をご持参ください。

長く続いた梅雨の影響より、日照不足下で育った作物が徒長していることがあります。徒長した作物は急な環境の変化に弱く、梅雨明け以降の高温乾燥で萎れたり枯れたりすることがあります。また、長雨によって、肥料切れが発生することも懸念されています。乾燥対策として朝夕に十分な灌水を行い、肥料切れの圃場には固形の化成肥料を施したり、応急処置として液肥の葉面散布を実施すると効果的です。

次回の調査予定日は、2019年8月23日(金)です。

お問合せ先 JA兵庫六甲 神戸北営農総合センター

TEL:078-981-5540

FAX:078-981-5817

